

# 2017年度第3四半期業績のご報告

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社

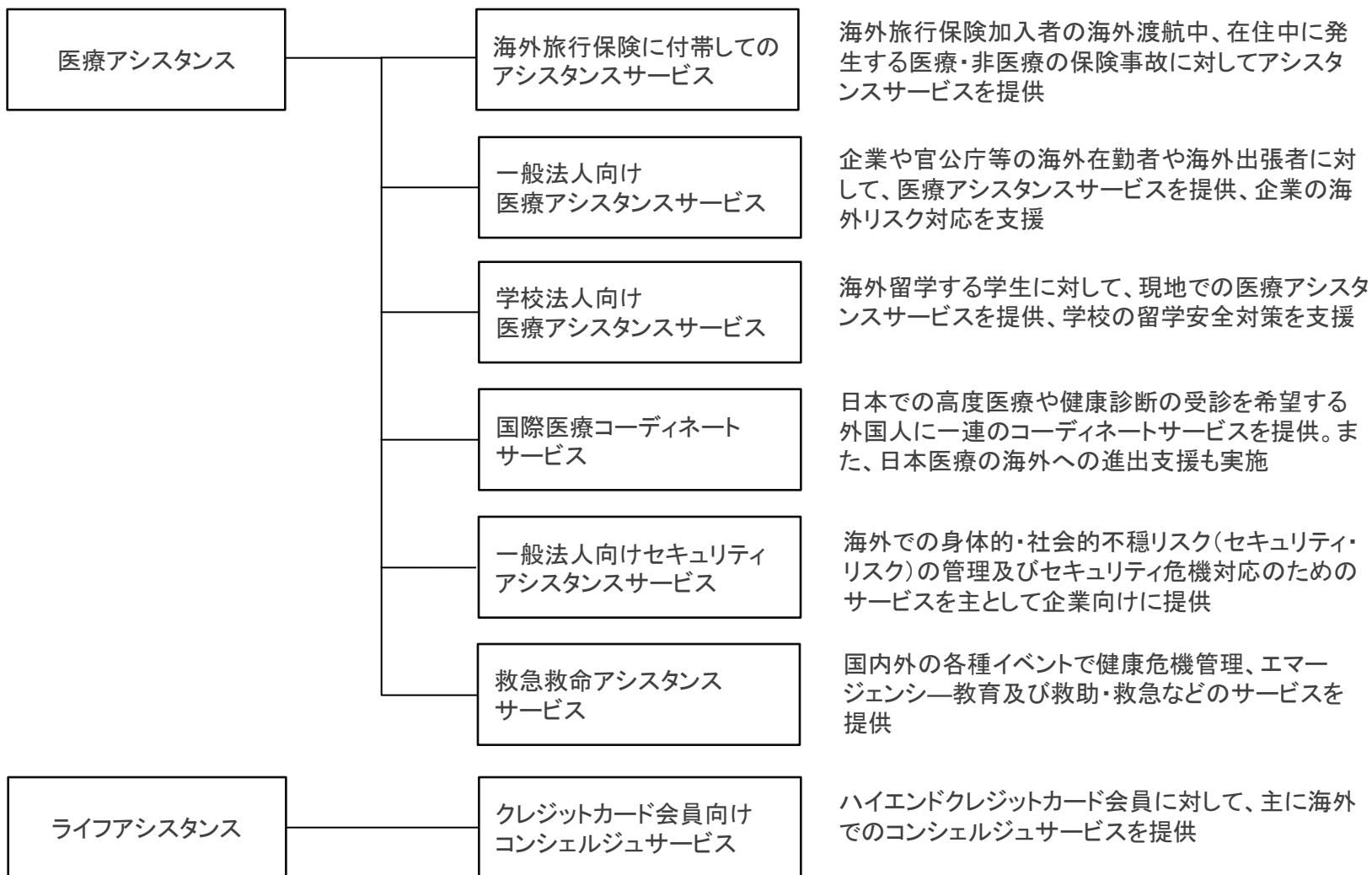
2017年11月10日

# I . EAJ事業内容のご説明

# 当社事業

## 事業

## 展開する主なサービス概要



## EAJのネットワーク網

- 7ヶ国に海外センターを配置（● 米国、中国、タイ、シンガポール、英国、フランス、バングラデシュ）
- 拠点数は全世界で12カ所、グループ要員数は310名
- 世界各国で提携関係にある約13,000件の医療機関と約2,650件の海外プロバイダーを活用しサービスを提供



※プロバイダーとは当社がアシスタンス業務において協力を依頼する機関を指します。

## Ⅱ. 2017年度第3四半期連結累計期間の決算報告

## 第3四半期の決算業績サマリー

- 売上高 1,915百万円(前年同期: 1,912百万円)
- 営業利益 30百万円(前年同期: 118百万円)
- 経常利益 10百万円(前年同期: 73百万円)
- 当四半期純利益 7百万円(前年同期: 47百万円)
- 売上高は1,915百万円と増収であった。
  - 海外旅行保険の付帯サービスに関しては想定より売上が伸びなかったものの、それ以外のサービスは堅調で売上を下支えし、医療アシスタンス事業の売上高はほぼ前年なみの結果であった。
    - ✓ 海外旅行保険の付帯サービスに関しては請求業務の企業間競争が激しく、またテロの影響により欧州での売上が低調であったことにより売上高は前年度を下回った。
    - ✓ 4月からの官公庁受注ビジネスは前年を上回る規模の受注が獲得でき売上を下支えした。
    - ✓ 法人・大学・セキュリティ売上は顧客ニーズの高まりを受け、前年比で売上が増加した。
    - ✓ 外国人患者受入事業は堅調に推移し、前年比で売上が伸びた。
  - ライフアシスタンス事業の売上高は前年同期比で5.7%増となった。
    - ✓ 帰国後の問合わせ対応でサービス提供数が増加し、増収となった。
    - ✓ サービス提供数に対応するため要員増を進めた結果、減益となった。
- 費用に関しては、将来のビジネス拡大を見据えて人材投資を継続的に実施したが、採用環境の悪化による採用コスト増や昇給等により人件費単価が増加した。その結果、営業利益は30百万円(前年比74.5%減)、経常利益は10百万円(前年比86.2%減)となった。

## 第3四半期および直近のトピックス

- **当社顧問医師が開設したクリニックと連携強化しサービス項目が増加**
  - 当社顧問医師である川合明彦氏がクリニックを8月に開業し当社と強力な提携関係を構築したため、当社を介してクリニックでの医療関連事業が可能となった。
  - 川合医師(循環器)は医療搬送及び外国人診療の経験も豊富であるため当社の医療搬送事業及びインバウンド事業が強化された。
- **海外危機管理へのニーズが増大し、法人売上・大学売上が好調**
  - ヨーロッパでのテロの発生や北朝鮮情勢等の地政学的リスクの高まりにより企業の危機管理に対する備えを再認識させた。海外進出企業の中で医療アシスタンスに対するニーズとテロや紛争などのセキュリティリスク対応に対するニーズが高まり当社の売上が増加した。
  - 海外留学する学校法人の留学生に対する危機管理支援サービスとともに、海外から日本に来日する留学生に対する危機管理支援サービスの売上也増加した。
- **インバウンドビジネスは堅調に推移**
  - 医療ツーリズムは、これまでの実績に加えて、「ジャパン インターナショナル ホスピタルズ」のほとんどの医療機関から医療渡航支援企業として指定されたことを追い風に、外国人患者受入に関する売上が増加した。
  - 訪日外国人が増加するにつれて、日本の医療機関へ患者を緊急対応で手配するケース及び問合せ件数が増加し、緊急対応型アシスタンスのケース発生数も増加。
  - Facebookページ「Medical Access Japan」を運営中。WeChatを近日中に開始予定。
- **医療通訳技能認定試験受験資格付与団体として承認される**
  - 外国人患者に対する適切な医療サービスを提供できる人材を育成するため当社は以前から医療通訳講座を実施してきたが、今回、一般財団法人 日本医療教育財団から医療通訳技能認定試験受験資格付与団体として承認された。

## セグメント別業績ハイライト

- 医療アシスタンス事業は、海外旅行保険の付帯サービスの売上が低調であったものの、それ以外の事業は堅調であり売上を下支えした。一方で、将来を見据えて人材の確保・育成等の投資を継続して実施し、短期的なコスト削減を実施しなかったため営業利益は前年度より減少した。
- ライフアシスタンス事業は増収だが、業務量増大のため人件費コストが嵩み減益となった。

(単位:百万円)

	前年同期		第3四半期実績	
	売上高	利益	売上高	利益
医療アシスタンス事業	1,585	309	1,569	258
ライフアシスタンス事業	327	90	346	70
調整額※	-	△281	-	△298
セグメント合計	1,912	118	1,915	30

※ 調整額とは、各報告セグメントに配分していない全社費用のこと。

※ セグメント利益の合計額は連結損益計算書の営業利益と一致している。



## 2017年第3四半期決算連結貸借対照表

- ライフアシスタンス事業の基幹システムを刷新したため無形固定資産が増加した。
- 立替金準備、投資のため借入金が若干増加した。

(単位:百万円)

	2016末 (構成比)	第3Q実績 (構成比)
資産合計	2,079 (100%)	2,116 (100%)
流動資産	1,814 (87%)	1,811 (86%)
固定資産	264 (13%)	304 (14%)
負債合計	1,357 (65%)	1,389 (66%)
流動負債	1,294 (62%)	1,318 (62%)
固定負債	63 (3%)	71 (4%)
参考:借入金残高	767 (37%)	772 (36%)
純資産合計	721 (35%)	726 (34%)

### 資産

- ライフアシスタンス事業の基幹システムを刷新し、無形固定資産が増加
- 売掛金・立替金の回収を実施

### 負債

- 立替金準備のため借入が増加

### 純資産

- 当期純利益の増加

## Ⅲ. 各種施策の取組み状況のご説明

# 各種施策に関する主要NEWS RELEASE

日刊紙 日本証券新聞(9月15日付)に当社の記事が掲載

医療通訳技能認定試験受験資格付与団体として承認された

**日本エマーゼンシーアシスタンス インバウンド、セキュリティ分野の成長に期待**

日本エマーゼンシーアシスタンス(以下「インバウンド」)は、9月15日(日)付の日本証券新聞に掲載された記事「インバウンド、セキュリティ分野の成長に期待」について、以下に要約を掲載いたします。

**企業研究**

インバウンドは、セキュリティ分野の成長に期待。インバウンドは、セキュリティ分野の成長に期待。インバウンドは、セキュリティ分野の成長に期待。

**政府が成長産業に位置付ける「医療」**

政府は、成長産業として「医療」を位置付けている。インバウンドは、セキュリティ分野の成長に期待。インバウンドは、セキュリティ分野の成長に期待。

**来期以降は業績回復傾向へ**

来期以降は業績回復傾向へ。インバウンドは、セキュリティ分野の成長に期待。インバウンドは、セキュリティ分野の成長に期待。

**企業の危機管理 意識が向上**

企業の危機管理意識が向上。インバウンドは、セキュリティ分野の成長に期待。インバウンドは、セキュリティ分野の成長に期待。

**NEWS RELEASE**

2017年10月18日

各位

会社名 日本エマーゼンシーアシスタンス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 吉田 一正  
(コード番号:6063 東京証券取引所JASDAQ)

**医療通訳技能認定試験受験資格付与団体として承認されました**

日本エマーゼンシーアシスタンス株式会社(略称:EAJ、本社:東京都文京区、代表取締役社長:吉田一正、URL: <https://emergency.co.jp/>)は、一般、一般財団法人 日本医療教育財団から医療通訳技能認定試験受験資格付与団体として承認されましたので報告申し上げます。

当社は医療の現場で活躍できる人材を育成するために、従来から厚生労働省のカリキュラムに則した実践的な医療通訳講座を実施して参りましたが、今回、当社が受験資格付与団体として承認されたことにより、今後は当社の指定医療通訳講座を修了すると、医療通訳技能認定試験(英語・中国語)の受験資格を得ることができます(※)。

※受験資格を得た後に認定試験を受験し合格すると、合格者に「医療通訳基礎技能者」または「医療通訳専門技能者」の称号が付与されます。

当社は2011年に医療滞在ビザの身元保証機関の第1号として登録されるなど、外国人患者の受入を積極的に実施して参りました。その実績が認められ、2015年には国内で初めて「医療渡航支援企業AMTAC※」として認定されております。今回の医療通訳技能認定試験受験資格付与団体としての承認により、当社の外国人患者受入事業の信頼性が一層高まることとなりました。

当社は今後も良質な医療通訳者を養成することで外国人患者受入に必要な人材を養成し、外国人受入事業が円滑に実施できるようにサポートし、日本政府の医療の国際展開を支援して参ります。

※医療渡航支援企業AMTACは日本政府のガイドラインに基づく一定の基準を満たした、質の高い外国人受入サービスを提供できる企業を一般社団法人 Medical Excellence Japan(MEJ)が認定する制度です。

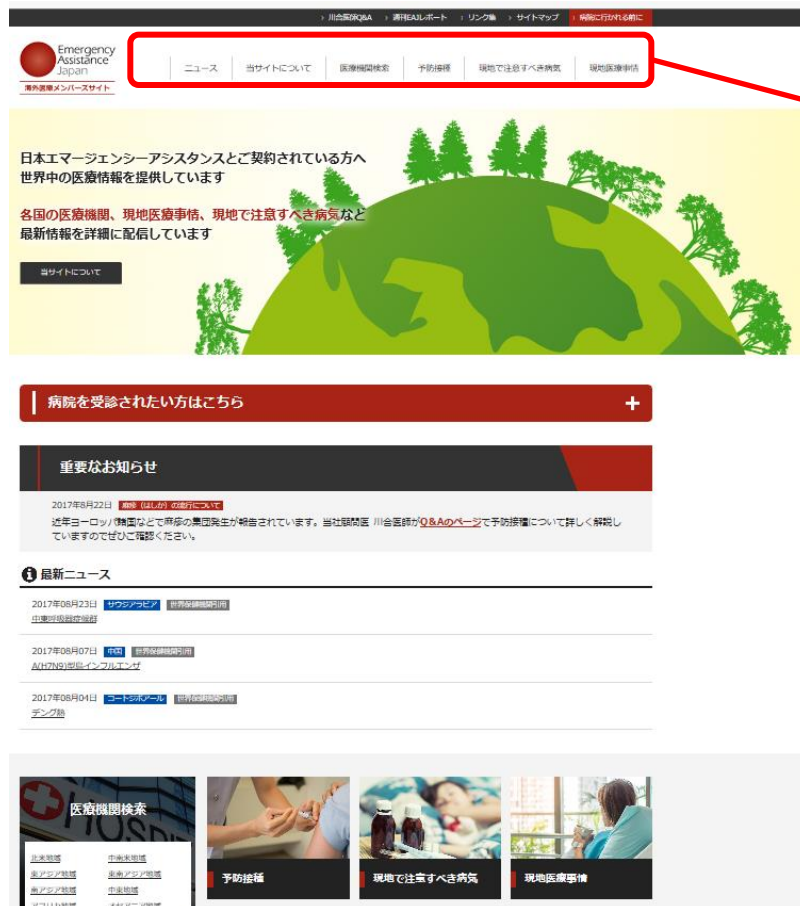
■本件に関するお問合せ先  
管理部 IR室  
電話:03-3811-8121

以上

# 海外医療メンバーズサイトを開設

- 医療コンサルティングサービスを契約を締結している会員向けに海外医療情報をメインに配信。新着情報や医師とのQ&A、週刊EAJLレポートのバックナンバーなど、現地滞在に役立つ多彩な医療情報を提供する。

## ● サイトトップページイメージ



## ● 主なサービスコンテンツ

- **ニュース/EAJLレポート**  
各国の感染症流行状況や毎週配信のEAJLレポートのアーカイブをご覧いただけます
- **医療機関情報**  
診療科、対応言語、住所/地図等、各地の医療機関情報をご覧いただけます
- **予防接種情報/現地で注意すべき病気**  
各地域で気をつけるべき感染症と推奨する予防接種や常備薬等の情報を提供
- **現地医療事情**  
主要国の現地の医療制度や受診時の注意点、手に入る薬剤等の情報を網羅
- **顧問医によるQ&A**  
メールにて当社顧問医への医療関連相談に対応いたします
- **病院受診手配等サービス利用方法**  
医療機関受診や通訳依頼等現地からのご依頼方法についてご紹介

# Facebookページ「Medical Access Japan」運営中

- 主に英語圏の外国人ユーザー向けにEAJのインバウンド事業に関する情報を随時提供する。<https://www.facebook.com/emergency.jp/>

The screenshot shows the Facebook profile for Medical Access Japan. The header includes the Facebook logo and login fields. The cover photo displays a medical scanner with the text "Medical Access Japan" overlaid. The profile picture shows a group of hands stacked together. The page content includes a post from June 29th about a timeline update and a user comment from October 25th about receiving heavy ion radiotherapy in Japan.

**facebook** メールアドレスまたは携帯番号 パスワード   ログイン  
アカウントを忘れた場合

**Medical Access Japan**  
@emergency.jp

ホーム  
投稿  
動画  
写真  
ページ情報  
コミュニティ

いいね! シェア 編集を提案 ...

メッセージを送る

投稿

**Medical Access Japan**さんが自分のタイムラインに6月29日の投稿を追加しました。  
6月29日 · 公開

Medical Access Japanとは？  
私たちは医療アシスタンスのスペシャリストです。  
Medical Access Japanは、日本エマージェンシーアシスタンス株式会社が提供するメディカルツーリズムサービスです。14年に渡る医療アシスタンス事業で培った日本国内の幅広い医療機関ネットワークとコーディネートノウハウをもとに、2011年から海外の皆様が日本の医療にアクセスするために必要な医療機関の選択、医療滞在ビザの取得サポート、医療通訳手配、日本滞在中の生活サポートなど、あらゆるサービスをご提供しています。... もっと見る

いいね! コメントする

Medical Access Japanさん、Yinyi Kumakuraさん、森 グレーナさん、他4人が「いいね!」しました。

**Medical Access Japan**  
10月25日 23:59 · 公開

User Comments  
I was able to receive heavy ion radiotherapy, which is not available in my country, in Japan. I was very moved by the hospitality of the hospital in Japan.

製品・サービス

コミュニティ すべて見る  
35人が「いいね!」しました  
45人がフォローしています

基本データ すべて見る  
emergency.co.jp  
製品・サービス

ユーザー >  
「いいね!」 35件

これもおすすめ

通訳者と翻訳者のためのビジネス...  
コンサルティング会社

ロシア語通訳チーム  
コンサルティング会社

## 小石川インターナショナルクリニック(KIC)開業

- 当社顧問医師の川合明彦氏がクリニックを8月8日に開業、当社と強力な提携関係を構築、当社サービスが強化される。
- 川合明彦氏は当社の搬送業務を多く手掛けた医療搬送のプロフェッショナルであるとともに、外国人患者の往診等も経験豊富であり、当社の医療搬送、インバウンドビジネスにおいて今後も主導的な役割を果たし、当社サービスが強化される。

院長：川合 明彦（かわい あきひこ）

診療科：内科、循環器、渡航医療、予防接種、外国人診療

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30-12:30	休診	外来	外来	外来	外来	休診	休診
13:30-16:30	休診	外来往診	外来往診	外来往診	外来往診	休診	休診



休診日 月・土・日・祝日  
完全予約制 保険診療・自由診療

〒112-0001 東京都文京区  
白山2-29-4 泉白山ビル1F

VISA/MASTER/銀聯カード対応

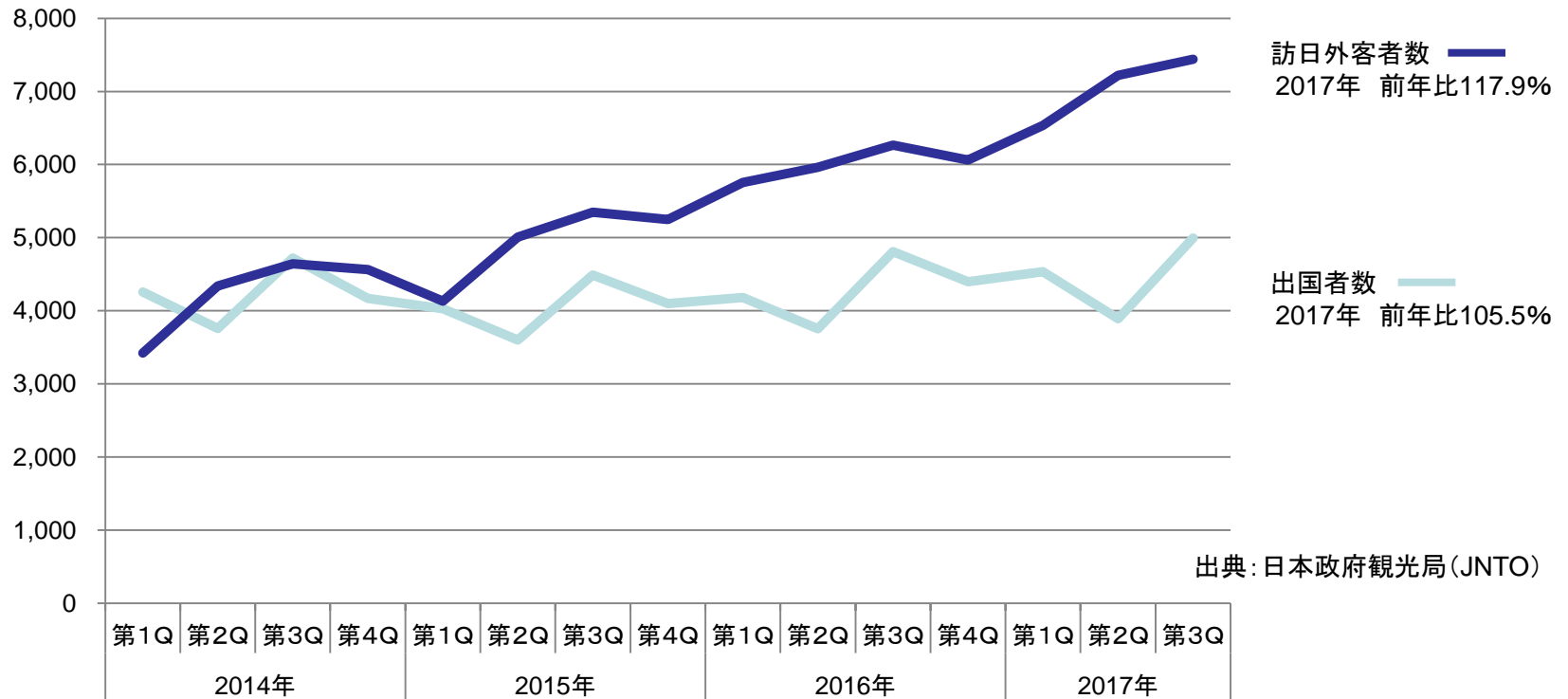
## IV. 現状分析と今後の対策について

## 海外出国者・入国者数の推移

- 外部環境は良好であり、海外出国者数の増加に伴い医療アシスタンスに対するニーズは増加している。
  - ▶ 海外出国者数は増加し、第3四半期で前年同期比5.5%増であった。
  - ▶ 海外から訪日外客数も堅調で第3四半期で前年同期比17.9%増であった。

単位：千人

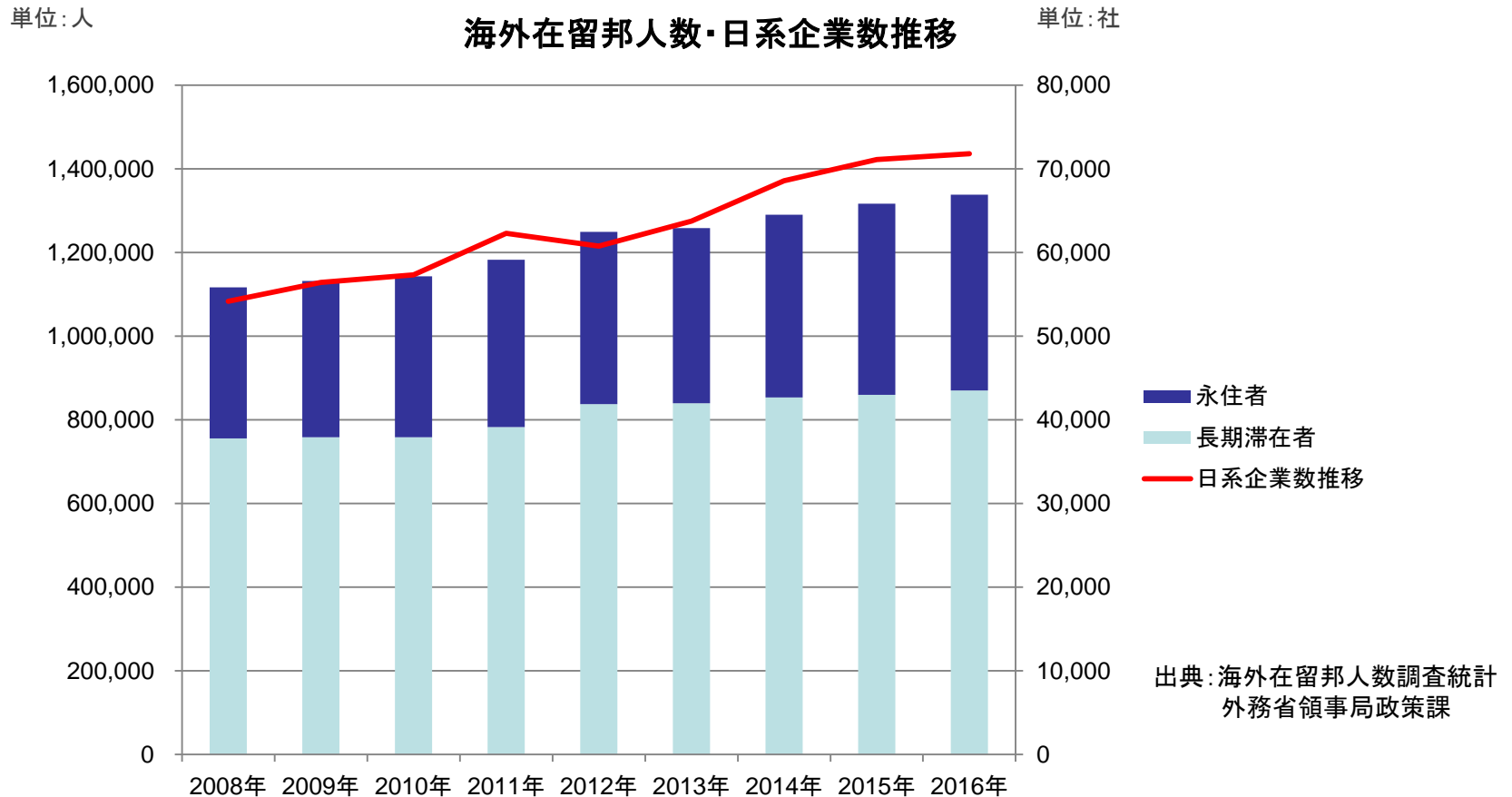
### 出国者数及び訪日外客数の推移





## 海外在留邦人数・日系企業数推移

- 海外在留邦人数・日系企業数は年々増加しており、海外における日本人の危機管理に対するニーズは高まっている。

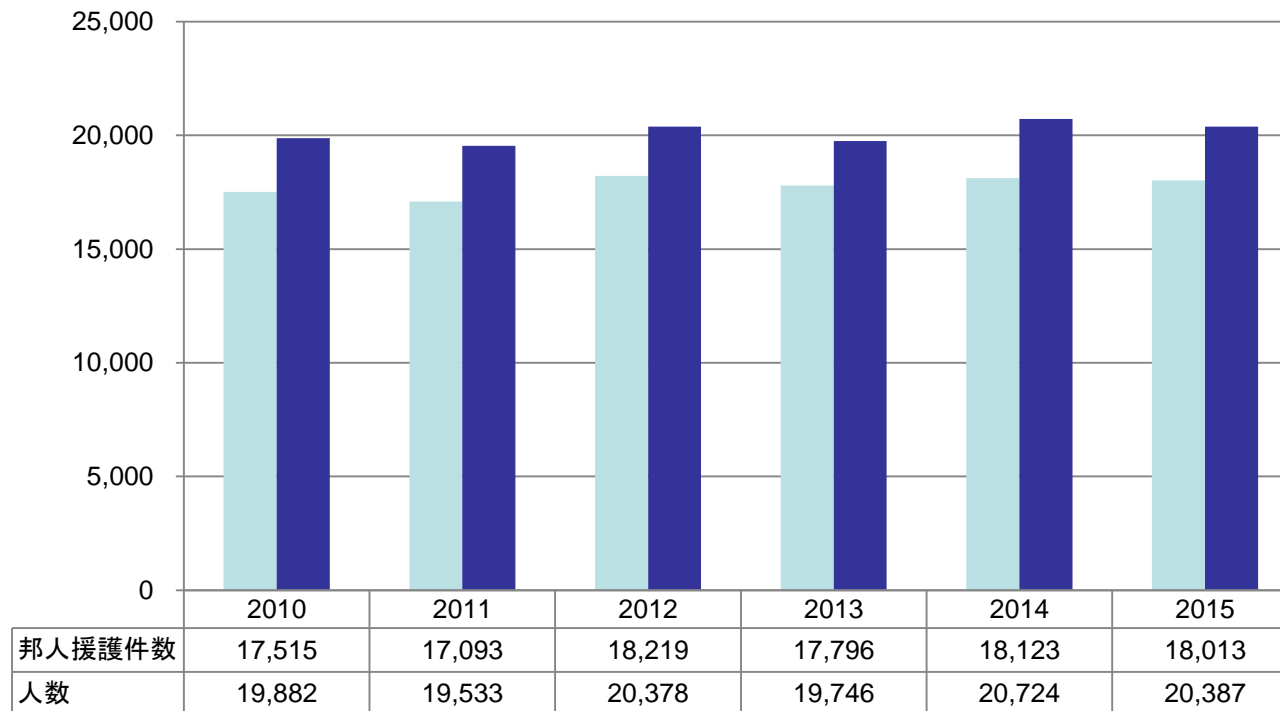


## 邦人援護件数・人数について

- 海外における邦人援護件数・人数は高止まりしている。
- 海外邦人援護発生地域(2015年)はアジア地域が34%、北米が32%、欧州が23%である。

単位:件,人

### 邦人援護件数・人数の推移



■ 邦人援護件数 ■ 人数

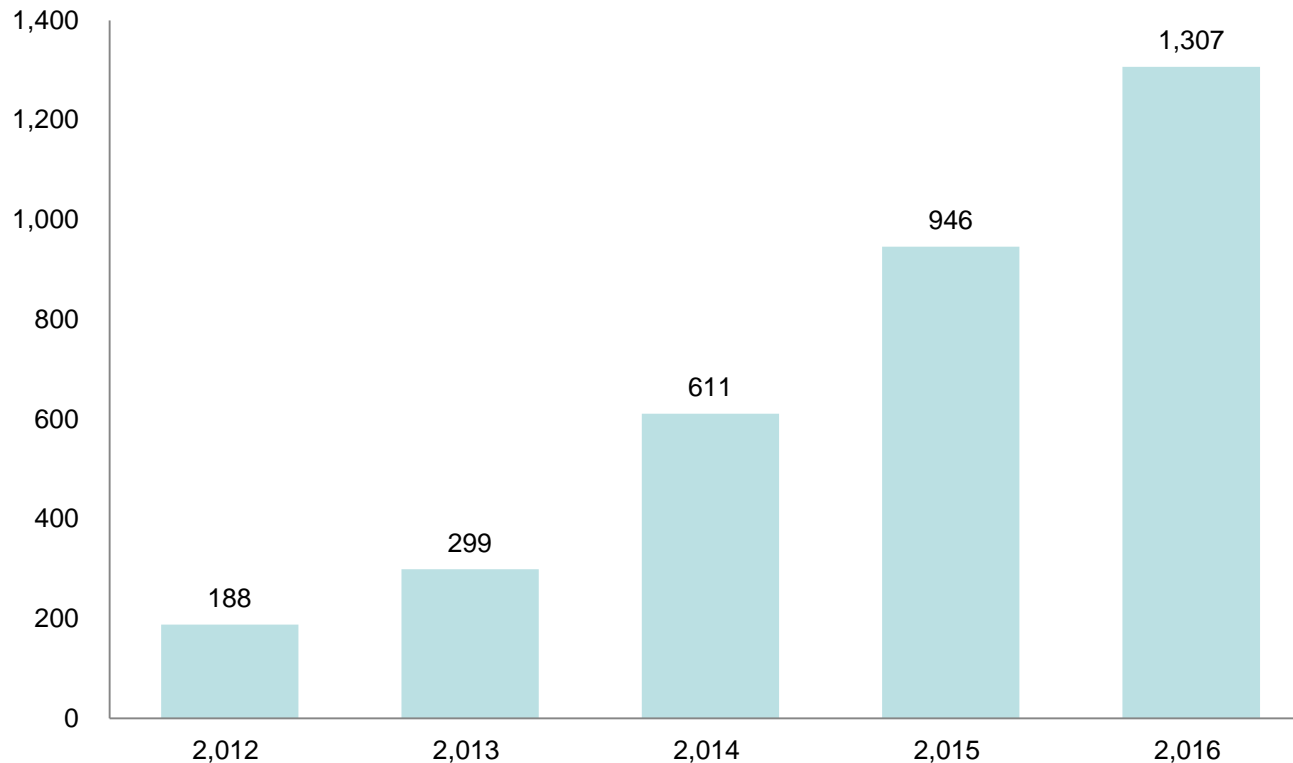
出展:外務省 領事局 海外邦人安全課『2015年 海外邦人援護統計』参照  
 現段階では2015年が最新数値である。

## 医療滞在ビザ発給数について

- 医療滞在ビザの発給件数は右肩上がりに増加している。
- 中国人向けがほとんどで88%、次いでロシア人が6%、ベトナム人が3%である。

単位：件

### 医療滞在ビザ発給件数



出展：外務省「平成28年査証発給統計(国籍・地域別)」参照

## 当社の現在の経営状況

### ●外部環境

- ・海外出国者数、海外駐在者数、邦人援護件数等からアウトバウンドのマーケットは拡大傾向にある。
- ・欧州におけるテロの発生、ナショナリズムの台頭等の下振れリスクはある。
- ・医療ビザ発給数、訪日外客数からインバウンドのマーケットは大幅な拡大傾向にある。

### ●現状認識

- ・競争が激化しているものの当社の経営環境およびビジネスの進捗状況はそれ程悪くない。
- ・海外旅行保険の付帯サービスについては様々な対策を実施しているものの、効果が出るにはしばらく時間がかかる。
- ・法人・大学営業、セキュリティビジネス、インバウンドビジネス・官公庁受注、ライフアシスタンス事業は業績好調であり、それ以外にも魅力的なビジネスの芽が出始めている。

### ●当社の対策

- ・当社の強みを生かし、そのインフラを利用した他社が真似できない高収益力の事業を構築する。
- ・営業力強化、ネットワーク再構築により既存事業のテコ入れをし、競合との企業間競争に打ち勝つ。
- ・既存の枠組みに捉われず、環境変化に対応した新しい組織作り、IT化を推し進め、「勝てる組織」となる。
- ・KIC(13P参照)の活用により医療コンサルティング事業のブランド化と拡大を図る。
- ・ライフアシスタンス事業は収益性・成長性が高いため人材・組織作りを継続して横展開も視野に置く。
- ・社会貢献性が強い点、女性が活躍している点は当社のアイデンティティーであり、その点を発信し、更なる優秀な人材確保につなげていく。

## V. 当社サービスについて

## 海外進出企業・学校法人が抱えるニーズ

- 海外進出企業・学校法人は、海外で起こる様々なリスクに対応しなければならない。
- 海外リスクマネジメントをプロフェッショナル企業に外注することは選択肢の1つである。

### 法人・学校法人のお客さまが抱える具体的なニーズ

- ▶ 各国現地支社・留学生の要望で、現地病院受診の仕組みを構築しなければならない。世界各国の駐在員・留学生に均一のサポート体制が必要
- ▶ 政情不安な地域で、有事の際に具体的な対応ができる手段を探している。危機対応プランを策定、事前に本社・本校・現地にて共有して、事態に備えたい。
- ▶ 独自に駐在員・留学生向けサービスを検討している。各国の状況に即したサポート体制を提供できる仕組みを、社内・校内に導入したい。
- ▶ 例えばオリンピックで協賛会社として開催前から多くのスタッフを現地に送り、開催期間中にゲストを招待する。危機管理や医療の手厚いサポートを提供できる方法は無いか(※)。
- ▶ 人事・労務・安全管理担当として、政情不安やインフラ不足の地域で、有事の際にどうするべきか、現地の医療情報収集と重症対応時の計画を事前にシミュレーションしておきたい。

### 当社が提供するサービス



医療アシスタンスサービス



セキュリティサービス



場所や期間を特定した医療  
アシスタンスサービス



コンサルティングサービス

※EAIはリオオリンピックで国際的大手メーカーに医療アシスタンスサービスを提供しました。

## アシスタンスサービスの機能

### ● リスク予防機能

- 企業の危機管理マニュアルの策定や危機管理オリエンテーション(オプション)の実施。
- 24時間365日のセキュリティ・ホットラインからセキュリティプロフェッショナルのセキュリティアドバイス等により企業のテロ、暴動、脅迫、天災地変等のセキュリティ・リスクを未然に防止する。

### ● 健康管理機能

- 企業の従業員、大学の留学生が海外で病気や怪我をした場合に現地の医療機関を紹介する。受診予約や支払代行、事前の情報収集や海外での健康診断のアレンジメントなど、予防から事後のケアまでトータルで支援し、企業の従業員、大学の留学生の健康を守る。

### ● 緊急時対応

- 医療アシスタンスで重症ケースでは途上国など必要な治療施設がない地域では近隣の医療最適地まで緊急医療搬送し、状況によっては日本の医療機関への緊急帰国搬送を手配する。
- セキュリティアシスタンスでは、治安状況が著しく悪化し、企業が現地の社員を安全な第三国に緊急避難させる必要がある場合には、避難実行のための各種支援を提供する。

### ● 企業のイメージを守る

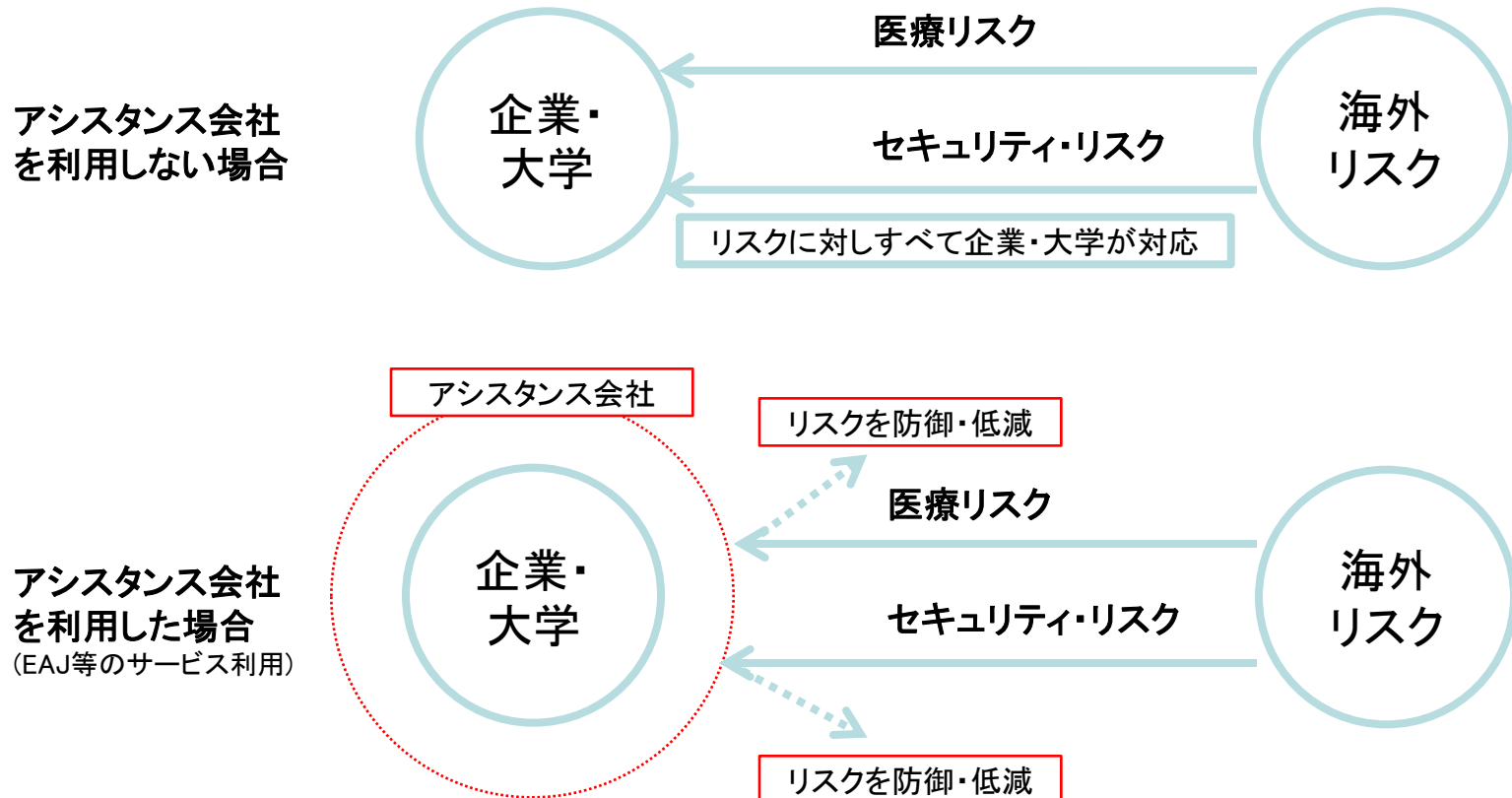
- 企業・大学のマスコミ対応等もオプションでサービス提供する。当社サービスにより危機発生時にパニックにならず適切な対応を実施でき、企業のブランドイメージを損なうといったリпутーションリスクを低減することができ、従業員・学生に対する安全配慮義務の遂行を支援する。

### ● 情報収集コストを削減

- 医療機関や現地セキュリティ情報をアシスタンス会社から入手することで、企業が独自で入手する時間と手間を省略することができる。
- 緊急時の対応に関して企業・大学の危機管理責任者がアシスタンス会社のサポートを受けることにより迅速で的確な対応ができ、より大きな2次災害が起こることを防ぐことができ、企業・大学のコスト削減につながる。

## アシスタンスサービスが必要な理由

- パソコンにセキュリティソフトが必要なように、海外進出企業・大学にはアシスタンスサービスが必要である。
- 海外企業はアシスタンスサービスを標準装備することでリスクを防御・低減し、トータルコストを削減することができる。



※上記はイメージ図であり、当社サービスがすべてのリスクを防御・低減することを保証いたしません。



## EAJのビジネスモデルと強み

### ビジネスモデル

- **医療搬送に強みを持ち、医療アシスタンスの全領域をカバー**  
海外で病気や怪我をした患者様からの電話の受付、医療機関紹介から搬送までワンストップで実施する会社は日本企業では当社だけである。
- **インバウンド(外国人患者受入)事業のリーディングカンパニー**  
外国人患者受入で業界でも主導的地位を保持し(医療ビザ申請第1号企業)、医療渡航支援企業に国内で初めて認証される。
- **セキュリティ事業も充実、医療とセットで海外リスクマネジメントを実施**  
全世界でセキュリティアシスタンスを提供。医療とセキュリティの総合リスク管理サービスを提供。海外進出する企業にとって当社サービスは必須のソフトである。
- **日本医療の国際化に貢献**  
インバウンド・アウトバウンド両方向の医療関連事業の展開を通じて、日本医療の真の国際化に貢献する。

### 独自性/強み

- **高い新規参入障壁**  
新規参入時に医療機関ネットワーク網の構築、バイリンガルのコーディネーター等優秀な人材の獲得・教育が必要であり、多額の初期投資がかかる。また、セキュリティ事業構築には独自の人的コネクションが必要である。
- **独自性**  
日本資本で唯一アシスタンス事業を専業とし、世界規模でサービスを提供。また、上場している(東証JASDAQ)アシスタンス会社は世界でも稀である。
- **サービス品質の高さ**  
複数の言語を話し、保険と医療に詳しい日本人スタッフを多く擁し、日本人ならではのきめ細かいサービスを提供。

# アシスタンスで お客様の世界を広げる

本説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらの不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、為替変動、国内外の事業に影響を与える政府の法規制といった国内及び国際的な経済状況などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

また、当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行われるようお願いいたします。

Copyright ©Emergency Assistance Japan Co., Ltd. All Rights Reserved.

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社